

教 育 行 政

第1節 昭和37年度福島県教育 委員会努力目標

1 教育行政の効率化を促進する

- (1) 教育行政の秩序を確立し、総合的企画の推進をはかる。
- (2) 市町村教育委員会との連絡提携の強化をはかる。
- (3) 行政事務の効率的な運営を促進する。
- (4) 調査研究と広報活動の充実を努める。

2 児童生徒の学力向上に努める

- (1) 新教育課程の実施について万全の措置を講ずる。
- (2) 児童生徒の実態を把握するとともに、学力向上について家庭・社会の理解と協力を得るように努める。
- (3) 現職教育を充実し、指導の向上をはかる。
- (4) へき地教育の充実をはかる。

3 科学技術の振興をはかる

- (1) 科学技術関係教科担当者の資質の向上をはかる。
- (2) 工業高校を増設し、中堅技術者の養成をはかる。
- (3) 農業高校の体質を改善し、近代的営農の自営者ならびに農業関係生産従業者の育成をはかる。
- (4) 各種振興法により、施設設備の充実を努める。

4 道徳教育、生活指導の徹底を期する

- (1) 道徳教育、生活指導に関する学校・家庭・社会の意欲の向上をはかる。
- (2) 指導組織・運営の改善ならびに指導技術の向上を期する。
- (3) 関係諸機関・団体との提携を密にし、指導の一貫をはかる。

5 特殊教育の振興をはかる

- (1) 養護学校の整備育成をはかる。
- (2) 特殊学級の充実に努める。
- (3) 盲、ろう教育の向上に努める。

6 青少年および成人教育の振興をはかる

- (1) 青年学級、婦人学級等学級講座の充実をはかる。
- (2) 自主的な団体の健全な活動を助長する。
- (3) 芸術文化活動の普及向上に努める。
- (4) 公民館等社会教育施設の整備充実をはかる。

7 体育およびスポーツの振興と保健教育の充実に努める

- (1) 学校保健環境の整備充実に努める。
- (2) 学校給食の普及充実をはかる。
- (3) スポーツ水準の向上に努める。
- (4) 水泳、交通事故等による事故防止に必要な安全教育の徹底を期する。

8 高等学校生徒急増対策の推進をはかる

- (1) 高等学校の適正配置に基づく新設校の設置を推進する。
- (2) 教職員の適正な確保と配置に努める。

第2節 教育委員会

1 教育委員

昭和37年10月10日で任期満了の太田緑子委員は再任され、委員長には、改選の結果、阿部委員を委員長とすることに決定、委員長職務代理者には、江花委員がそれぞれ選ばれた。現委員は次のとおりである。

職 名	氏 名	職 業	住 所	就任年月日
委 員 長	阿 部 信 義	な し	原町市池の台116	35. 10. 11
委員長職務代理	江 花 静	な し	会津若松市東山町石山字水尾前丙	35. 10. 11
委 員	今 泉 修 二	会社取締役	二本松市郭内2丁目263の1	36. 12. 23
委 員	笠 原 良 平	工 場 長	須賀川市字塚田25	36. 12. 23
委 員	太 田 緑 子	な し	郡山市池の台116	37. 10. 11